

**火山調査研究推進本部政策委員会総合基本施策・調査観測計画部会
第 7 回調査観測計画検討分科会における
「火山に関する総合的な調査観測計画「第 2 章」・「第 3 章」の要点（案）」に
関する主な意見**

火山調査研究推進本部政策委員会総合基本施策・調査観測計画部会第 7 回調査観測計画検討分科会における委員からの主な意見において、「火山に関する総合的な調査観測計画「第 2 章」・「第 3 章」の要点（案）」に関連するものは以下のとおりである。要点の各項目（網かけ部分）に対する第 7 回分科会での意見を整理しリスト化した。

0. 第 2 章の構成

・「2. 機動的な調査観測」においては、平常時からオールフェーズで実施すべき基盤的な調査観測に対し、より柔軟に火山活動の変化等に応じて集中的な観測点配置や降灰調査・火山ガス観測等を実施する「機動的な調査観測」を整理

- ・総合基本施策での表現に合わせて、「平常時」を「静穏時」にしてはどうか。
（上記意見への考え方）
→総合基本施策と平仄を揃えたい。

1. 基盤的な調査観測

（3）噴火履歴・火山体構造等の基礎情報調査

1）基本的な考え方

実施方針

・火山体構造の基礎情報調査では、陸上と海域の両方の主要な火山において、比抵抗構造探査、地震波構造探査、音波探査等によって、地殻内（30 km以浅）の、マグマ噴火の主たる場であるマグマ供給系や、水蒸気噴火の主たる場である浅部構造を調査

- ・火山本部ではマグマ水蒸気噴火という言葉を使わないのか。総合基本施策の用語集に準拠したと理解した。
（上記意見への考え方）
→総合基本施策の用語集に準拠している。マグマ供給系から浅部構造までを広くとらえるイメージで修文する。

3. リモートセンシング技術の活用

3）今後の計画

実施方針

・大学、研究機関等の関係機関は、二酸化硫黄観測、熱異常観測や詳細な地殻変動、地形変化等のリモートセンシング技術の多項目化への開発及び高度化を推進し、積極的に活用、火山活動評価及び噴火活動把握への貢献を期待

- ・ 詳細な地殻変動に特別な意味があるか。

(上記への意見)

→国の基盤的観測とは別に、大学、研究機関等の関係機関の観測による貢献を期待するものなので、詳細という文言があるのではないか。

(上記意見への考え方)

→国の基盤的な観測と、大学、研究機関等の関係機関の観測の役割を分ける意図もあるが、事務局で検討する。

4. 物質科学分析

1) 基本的な考え方

実施方針

- ・ 火山噴出物の物質科学分析に基づき、マグマ温度・蓄積圧力（深度）、マグマ供給系変化、深部マグマの供給、マグマ上昇率、噴火の爆発性、熱水系の温度、噴火様式、噴出率を調査観測

- ・ 深部マグマの供給等、確実に調査観測できるとは言えない項目については、表現を工夫してはどうか。
- ・ 深部マグマの供給等は、研究要素もあるが、目指す方向性として記述する必要があると考える。

(上記意見への考え方)

→確実に調査観測する項目と方向性を示すものを分けて記述する。